

JP047 八幡平・和賀岳 (はちまんたい・わがだけ)

岩手県：八幡平市、滝沢村、雫石町、西和賀町

秋田県：横手市、大仙市、仙北市、北秋田市、鹿角市、美郷町

位置	N 38° 52′ E 140° 50′
面積	98,000ha

環境構成【森林】

奥羽山脈の那須火山帯にありながら、火山活動によって造り出された火山ではなく、新第三紀の火山岩・火砕岩（砂岩を含む）と白亜紀の花崗岩が、東西両側に逆断層を伴って隆起しつつ、激しい浸食を受けて作られた。この逆断層の働きは明治 29（1896）年の陸羽地震を引き起こし、岩手県側に和賀川断層（川舟断層）と秋田県側に真昼岳断層（千屋断層）を生じさせた。現在でも 1000 年あたり 0.5～1m 隆起し続けているという。岩手と秋田を分ける奥羽山脈の中程にあり、国道 46 号線仙岩峠から南に連なるモッコ岳、和賀岳、高下岳、真昼岳、女神山などの南北に連なる山々は真昼山地と呼ばれている。この山塊の山麓は鋭く深い沢となり、標高の割には急峻となっているが、主稜部はなだらかでいたる所に雪田や草原が見られる。一方、和賀川源流域は山が深く、ブナ原生林が広がる。



写真：瀬川強

選定理由

A3	-
----	---

保護指定

サイトの全域（90%以上）に法的な担保がある

<保護指定の内容>

国指定鳥獣保護区（森吉山・大平湖）、都道府県指定鳥獣保護区（八幡平、石黒沢、薬師嶽）、国立公園（十和田・八幡平）、都道府県立自然公園（森吉山県立自然公園）、自然環境保全地域、保護林

保全への脅威

- ・地熱発電所の計画(雫石町)
- ・木質バイオマス発電所の計画

- ・ 特定外来種のおオハンゴンソウが増えている
- ・ 町道安ヶ沢線（現在凍結中）
- ・ 県道花巻大曲線（現在工事中）

鳥類の個体数、生息環境の現状

- ・ IBA サイトにおける重要な鳥類（IBA 選定基準種）の個体数の変化
不明
- ・ IBA 基準種の個体数のカウント調査実施の有無：有
＜調査データの入手方法＞
生物多様性センターホームページのモニタリングサイト 1000 の調査結果より
- ・ IBA 選定基準種の個体数に影響するような、IBA サイト内の重要な生息環境の変化：
変化はない
- ・ IBA 選定基準種の生息環境：普通（70～90%が最適の状態）
- ・ IBA エリアの保全管理計画の有無：無

保全活動

- ・ 環境教育活動：
内容：探鳥会（日本野鳥の会北上支部）
自然観察会、植樹（カタクリの会）
- ・ モニタリング調査：
内容：オオジシギ調査（日本野鳥の会北上支部）
和賀川源流部の鳥類に関する調査 1996（沢内村雪国文化研究所）
- ・ その他
緑の回廊の働きかけ（グリーンベルト推進協議会）
森吉山麓高原自然再生事業

IBA サイトの保全に関係する地域のグループ

- ・ 日本野鳥の会北上支部
- ・ カタクリの会

見られる鳥

和賀岳周辺	オオジシギ、ノジコ、アオジ、カッコウ、ホトギス、ジュウイチ、ツツドリ、ヨタカ、オオヨシキリ、アカショウビン、サンコウチョウ、アカハラ、コムクドリ、ノスリ、クマタカ、イヌワシ、オオタカ、キジ、ヤマドリ、コマドリ、クロジ、マミジロ、オオルリ、エゾムシクイ、キビタキ、センダイムシクイなど
--------------	---

関連団体・自治体・施設等

・日本野鳥の会 秋田県支部

